明日へ向かって

第３学年　学年だより
令和５年　５月１５日
第１３号

目標を決めるとそれに近づいていく

前回の学年だよりでは目標を立てる意義について書きましたが、３年生になってこだわりをもって目標を立てることができているでしょうか。さて、高い目標を掲げてそれを意識して取り組んでいくと、なぜかその目標に近づいていく。これは、多くの人が言っていることなので、あながち怪奇現象でも妖怪の仕業でもないのです。

「えっ？それ、本気で言ってるの？」と驚かされるような目標であっても、それに前向きに取り組む姿勢が本人を変えていくものなのでしょうか。みなさんは一昔前話題になった『学年ビリのギャルが１年で偏差値を 40 上げて慶應大学に現役合格した話』（坪田信貴・著）という本を知っているでしょうか。

金髪くりくり巻き毛に超ミニスカ、化粧バッチリの女子高生が、高校１年の二学期、学年ビリ偏差値３０以下という状態から、なぜか慶應大学を目指すことになったという話です。

偏差値を都立入試に使ってはいけないというお達しが出たのは、はるか昔のことで、偏差値といわれても今はピンと来ないかもしれません。分かりやすく言うと、偏差値 30 というのは、全国で下位２%にいるという状態です。受験生は約 70 万人いるので、順位としてはだいたい 686,000 番より下にいるということになります。慶應大学を受験するにあたり、合格可能性Ａ判定が出るのは偏差値 70 以上。全国で最低でも 14,000 番には入っていなければいけません。つまり彼女は、１年半で 67 万人をごぼう抜きしなければならない計算になるのです。それを克服して見事、慶應大学に現役で合格した。こんな実例もあるわけです。

評価はゴールではなくスタートだ

通知表の評定で１が付いただの、５が付いただのと数字に踊らされる。１がついたからどうのこうの、５だったからやいのやいの、その意識でいる以上、５であってもすぐに４になるだろうし、１は１のままなのです。昔は“相対評価”といって、学年の人数に対する５・４・３・２・１それぞれの割合が決まっていました。「５が７%、４が 14%……」といった具合です。170 人いたら、12 人は必ず１がつきました。しかし今は違います。普通に授業に出席し、テストと名の付くものは、とりあえず全部受け、出すものを出し、態度も普通であれば、まず１が付くことはありません。逆を言えば、それらのなにか、あるいはいくつかが欠けていたために１という評価が出たのです。「授業欠席が多かった」「テストを受けなかった」「テストの点数が ２０点に満たなかった」「出さない提出物があった」「出したが内容が不備だった」など、それらに正面から向き合うことができれば、１が付いた意味もあるでしょう。この結果を有益に活用できるからです。ただ騒いだり落ち込んだりしているだけでは、せっかく１が付いた価値がありません。

５の場合も同じです。また、評価が上がったり下がったりする場合も同様。そこには、なんらかの原因があるのです。５だったからワーイワイと喜んでいるのは愚の骨頂、危険です。なぜなら５と４の達成度の違いは 10%しかないからです。まして５より上の評価はないのだから、なぜ５だったのかを押さえておかないと、簡単に４になってしまうのです。

小学校、あるいは中２までの時と変わるべきは、結果を客観的に受け止め、自分自身で原因を究明できるようになることです。**「なんで～？」と聞く前に、自分で「なんでだろう？？」と考えること**です。望ましくは改善のための一歩を自ら歩み出せること。そこまでできれば受験生としては準備は万全と言えるでしょう。

では、数字だけを見て一喜一憂するところから立派に卒業できたとして、そこから伸ばすにはどうしたらよいのでしょうか。

一つは、とある経済新聞からの記事を紹介します。

> 成績を伸ばしたい。でも努力しているのに伸びない。そういう声と向き合って、早、25 年。いつも僕が、そういう生徒に問うことがあるんですね。
>
> まず、「自分はおしなべてどのぐらいの成績だと思うか」と問うのです。すると、「３ぐらいでしょうか」と答える。
>
> 次に「成績をどのぐらいにしたいか」と問います。すると、具体的な数字が上がらない。考えた挙句、「とりあえず一つ上の４ですかね」と答える。
>
> 「４にするために何をしたらよいか」と問うけれど、なかなか分からないんですね。
>
> 「それじゃあ、私がいろんなことをやろうとアドバイスしても、成績は上がらないよ？」というと、
>
> 「じゃあ、３でいいです」と言うんです。
>
> そういう生徒は伸びないんですね。塾などでいろんな勉強をしアドバイスを受けても、「なんで自分がそれをやるのか」が分かってないからなんです。その上、「４にしたいです」「５を目指します」と言えない。上を目指す目標が、自分自身で設定できない生徒は、絶対にそこには近

もう一つは林修氏の著書からです。

> Ｑ「本気でやって成績が上がらない場合は、何が原因なんでしょうか。」
>
> Ａ　一番多いのは、単純に量不足です。自分が思っているほどやってないんです。やり方や要領の問題も、もちろんあります。でも、伸びないと思っている人のほとんどは、量が足りないんです。
>
> やり方、要領といったものは、単なるテクニックです。僕が言うのは意外かもしれませんが、テクニックを生かすには、やはり圧倒的な練習量が必要なんです。

（裏面へつづく）

進学校の生徒は、外部の生徒から見るとびっくりするぐらい勉強をやっています。しかし、当の本人たちは、誰も勉強量が多いなんて思っていません。みんなが相当な時間と数をこなしているために、それが当たり前になってしまっているので、なんとも思わないんです。

一方で、周囲のレベルがあまり高くなくて、知らず知らずのうちに低い基準で判断していると、「俺はこんなにやっているんだ」と思ってしまうんです。ところが、その量自体が、実はそれほど多くないという場合が断然多いんです。

さらに、今の日本の学校システムにおける課題があります。それは、生徒が理解していようがいまいが、とにかく一律に学年を上げていってしまうということです。そうすると、確かにその学年でやっていることに対しては、ものすごい量をやって頑張っているかもしれないけれど、そこまでの基礎ができていなければ、その頑張りは積み上がっていかず、結果にも現れないということが、往々にして起きます。本当は問題が起きているところまで戻って、そこから量を積み上げていかねばならないんですが、今の制度ではそれがしづらいんです。

そして、よく言われることですが、勉強というものは今日がんばったからすぐ明日からできるようになるものではありません。成果は、かなり経ってから出てくるのが普通です。

また、その時やったことは、ある程度時間を置いてもう一度やったほうがいいんです。その一回限りでは身に付かないんです。成果の現れが遅いことに焦る生徒も出てくるわけですが、それを本人が見極めるのはなかなか困難です。

整理しましょう。

まず、本人はやっているつもりでも実は単純に量が足りない場合があります。

そして、仮に量的には十分であっても、その基礎が抜けていて実は身になっていないという場合もあります。

さらに、単に成果が出るには時間がかかっているだけの場合もあります。

ソーラン節実行委員を紹介します（敬称略）

１組	
２組	
３組	

九中運動会の伝統ともいえるソーラン節を成功させるために、ソーラン節実行委員会が活動しています。自分たちでより良いものを創ろうと、話し合いを重ねていきます。昨年度創り上げたソーラン節よりも良いものを、昨年度の３年生のソーラン節よりも良いものを…実行委員を中心として運動会本番までの練習に意欲的に励みましょう。みなさんならできます！　頑張りましょう！

みなさんが書いた進路年間計画を紹介します②

年間の予定を見ながら、どんなことをどんなふうに取り組むとよいか考えましょう。下記の選択肢を参考に★欄を記入しましょう。

	学校行事	進路スケジュール	★学習のすすめかた		★進路に向けて取り組むこと
４月	始業式 入学式 離任式	全国学力・学習状況調査	☑Vもぎで大体の自分の今の位置を知る ☑会話生の自覚をもつ	1,2年生の復習	☑第1の行きたい所しぼる □私立の行きたい所しぼる ↳ 見学や説明会がいつか調べておくパンフレットをとりよせる。
５月	音楽鑑賞 運動会	都意識調査	・学校のワークはできるだけはやくおわらせる □ラスト範囲のワークを6月までに終わらせる		詳しく調べて優先順位つける 第1,2希望を大体きめる。 ↳ その学校の入試の特徴を知る □説明会
６月	期末考査	領域診断テスト① 進路希望調査①	期末考査対策 -家庭と期末の結果を見てはなしあう	1,2,3年生の問題集など。たくさん解いてアウトプット練習。	・Vもぎ □説明会
７月	大掃除 終業式	進路説明会① 三者面談① 高校見学・体験等	□苦手を見つけて潰す □得意をのばす □3年生の予習		・Vもぎ □説明会 ・志望校対策
８月		高校見学・体験等	□苦手を潰す □得意をのばす		・Vもぎ □説明会 □志望校対策
９月	始業式 修学旅行 立会演説会 中間考査	進路希望調査②	中間考査対策 □苦手潰し・得意のばし	応用問題	□文化祭見学 ・Vもぎ □説明会 □志望校対策
１０月	生徒総会 学習発表会	領域診断テスト② 進路説明会② 求人一覧	□スピーキングテスト対策 □苦手潰し・得意のばし	過去問。量を絞って見直しも。3年生の範囲を終わらせる 総復習	・Vもぎ □説明会 □文化祭
１１月	期末考査	領域診断テスト③ 進路希望調査③ ESAT-J 三者面談② 面接練習始	期末考査対策 □苦手潰し、得意のばし →全力注ぐ!!		・Vもぎ □説明会 ・個別相談会 ・志望校対策
１２月	大掃除 終業式	仮内申 三者面談③ 希望進路決定 私立入試相談 ESAT-J 予備日	応用・過去問・総しあげ、見直し	基礎を確認しつつ難易度高めの問題にチャレンジ	・Vもぎ ・個別相談会 ・志望校対策
１月	始業式	就職試験 都外私立入試 都内私立推薦入試 都立推薦入試	応用・過去問・総しあげ、見直し		・Vもぎ ・最後のおさらい
２月	学年末考査	私立国立一般入試 都立一般一次入試 都立定時制入試	過去問　総しあげ・見直し		
３月	校外学習 卒業式	都立二次入試 私立二次入試			

月標平日5時間勉強

夏休みは1日時間勉強

6時間以上!!

【学習のすすめかた】

□定期考査の対策を立てる　□受験勉強の計画を立てる　□１・２年生の復習　□苦手教科の勉強　□基本問題の定着
□応用問題を解く　□今までの総復習　□入試問題にアタック　□ミスしやすいところをチェック　など

【進路に向けて取り組むこと】

□上級学校体験授業　□上級学校訪問　□文化祭見学　□家で進路について相談する　□進路選択　□面接対策
□小論文対策　□実技試験対策　□高校見学　□個別相談会　□書類の申請　□受験の日程の確認